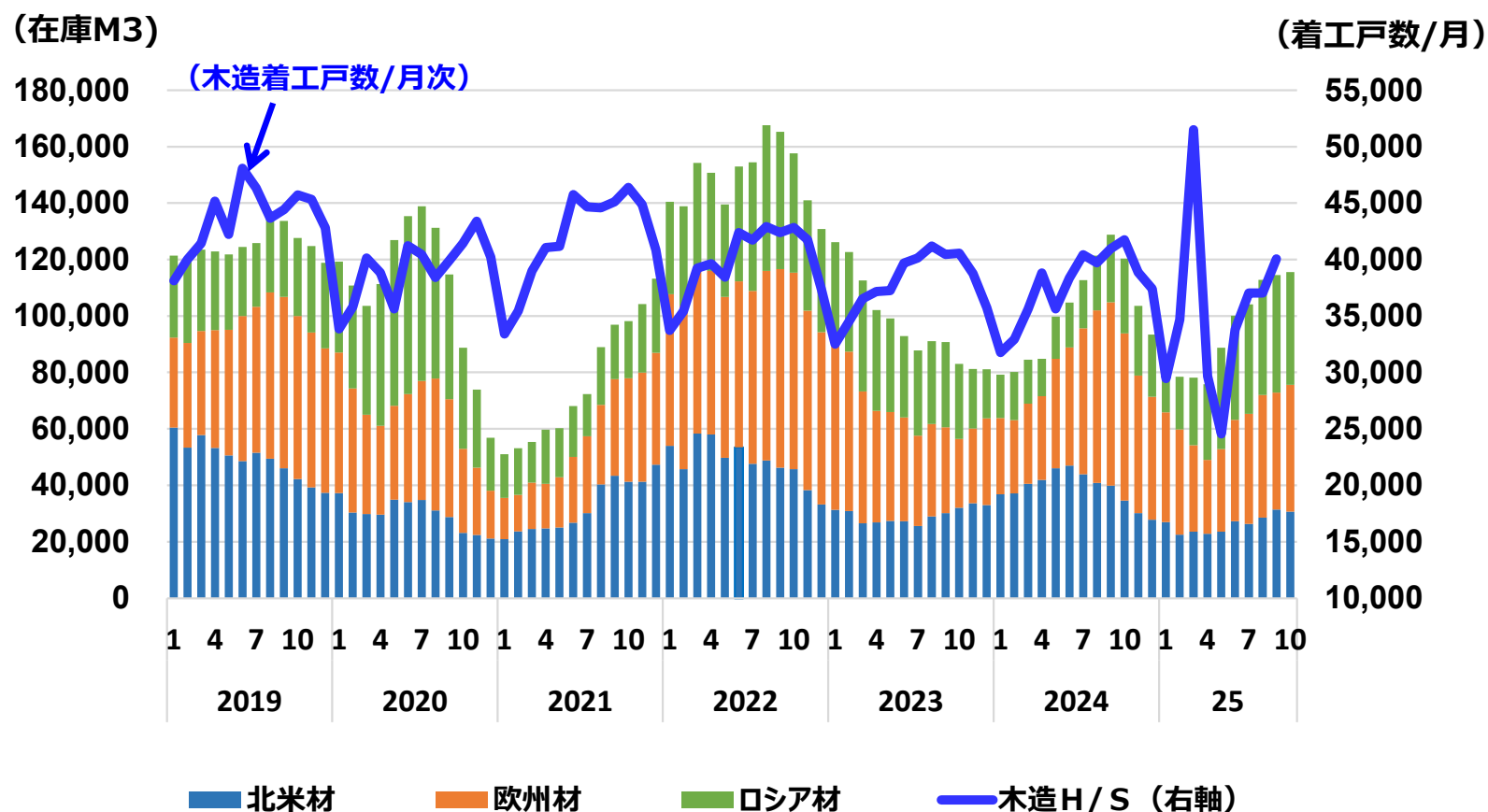


「東京港製材品在庫」と「木造着工数」の推移 2019～25年

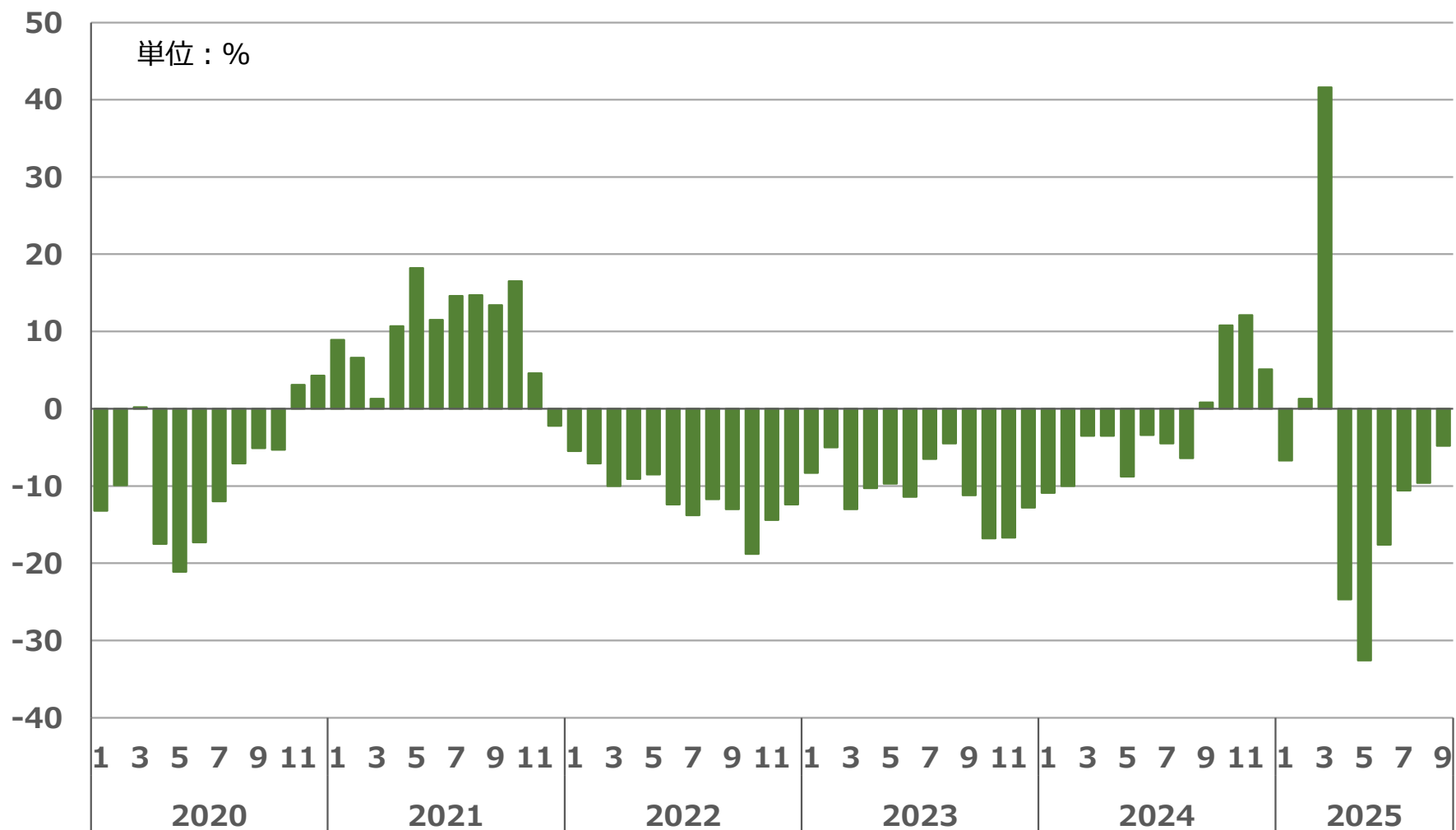
- 2025年10月の東京港製材品在庫量（前年同期比）は、前月から微増したものの、北米材30,673m³（-11%）、欧州材44,882m³（-24%）は引き続き低位。ロシア材は、順調だったコンテナ入荷が減少したことから、前年からは増加しているものの前月より減少傾向にあり39,998m³（+51%）。
- 2025年9月の木造着工戸数は40,060戸（前年同期比-2%）と先月から上昇傾向。



木造持家住宅着工戸数の対前年比の推移

住宅着工戸数のうち、国産材の使用比率が比較的高い「木造持家」着工戸数についての、対前年比率。

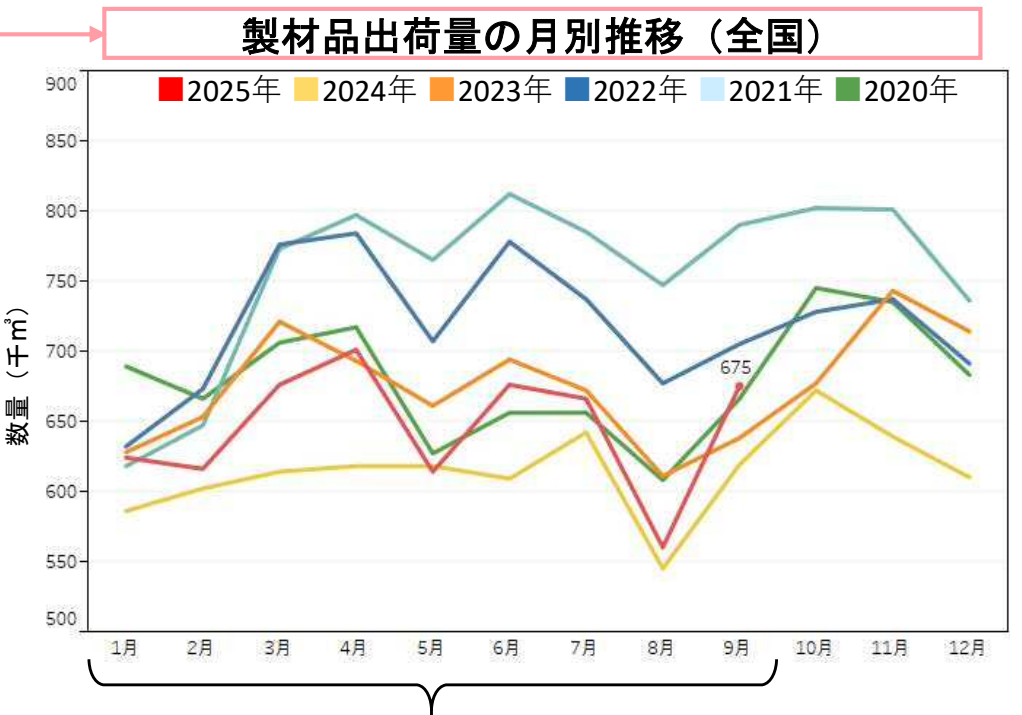
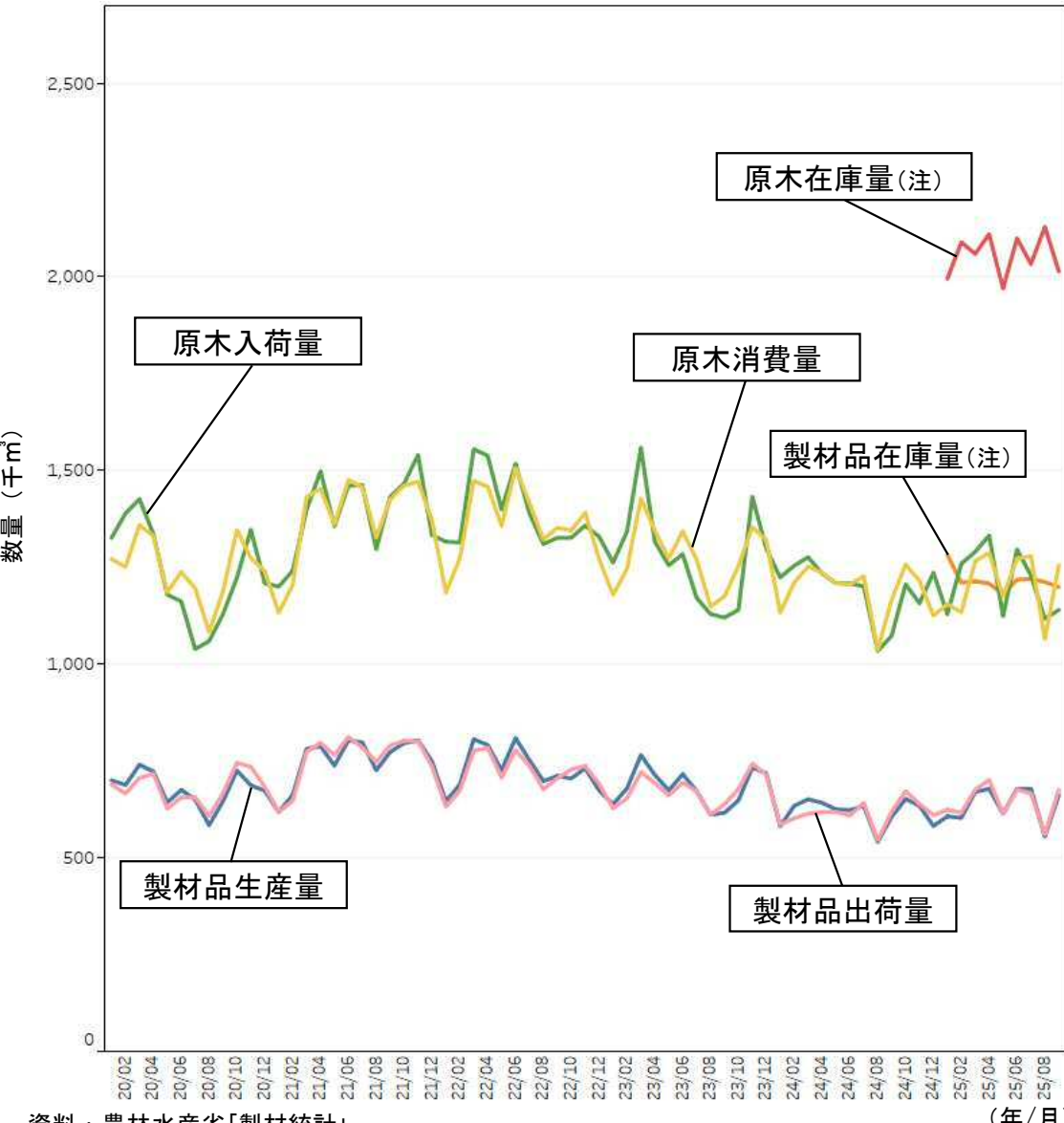
○ 2025年9月の木造持家着工戸数は、16,575戸（前年同期比-5%）と8月から+5.4%上昇し引き続き回復傾向。



参考図表 3

工場の原木等の入荷、製品の生産等の動向 製材（全国）

- 2025年 1 ～ 9 月の原木の入荷量は10,916千m³（前年比102%）。
- 同様に製材品の出荷量は5,808千m³（前年比107%）。



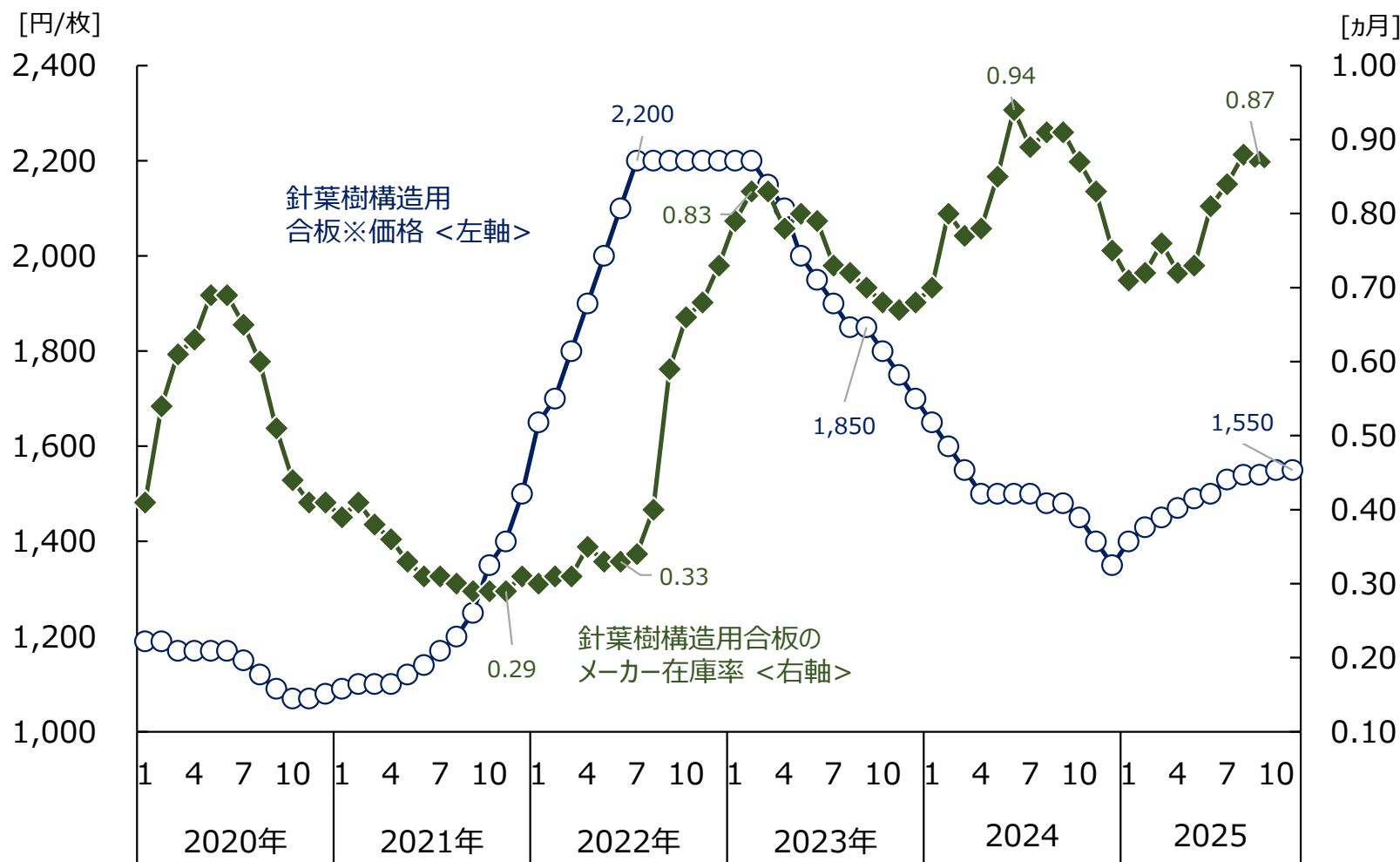
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1～9月原木入荷量合計(千m3)	11,045	12,346	12,664	11,438	10,713	10,916
前年との比較	—	112%	103%	90%	94%	102%
1～9月製材品出荷量合計(千m3)	5,991	6,734	6,469	5,971	5,453	5,808
前年との比較	—	112%	96%	92%	91%	107%

資料：農林水産省「製材統計」
注）原木在庫量、製材品在庫量については、2025年 1 月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、当該月から掲載。

針葉樹構造用合板価格と合板メーカー在庫率の推移

在庫率＝当月在庫量/当月を含む過去6ヶ月の平均出荷量

- 2025年9月の在庫率は0.87ヵ月分と7月から0.01ポイント減少。
- 2025年11月の針葉樹合板価格は1,550円と先月から横ばい。



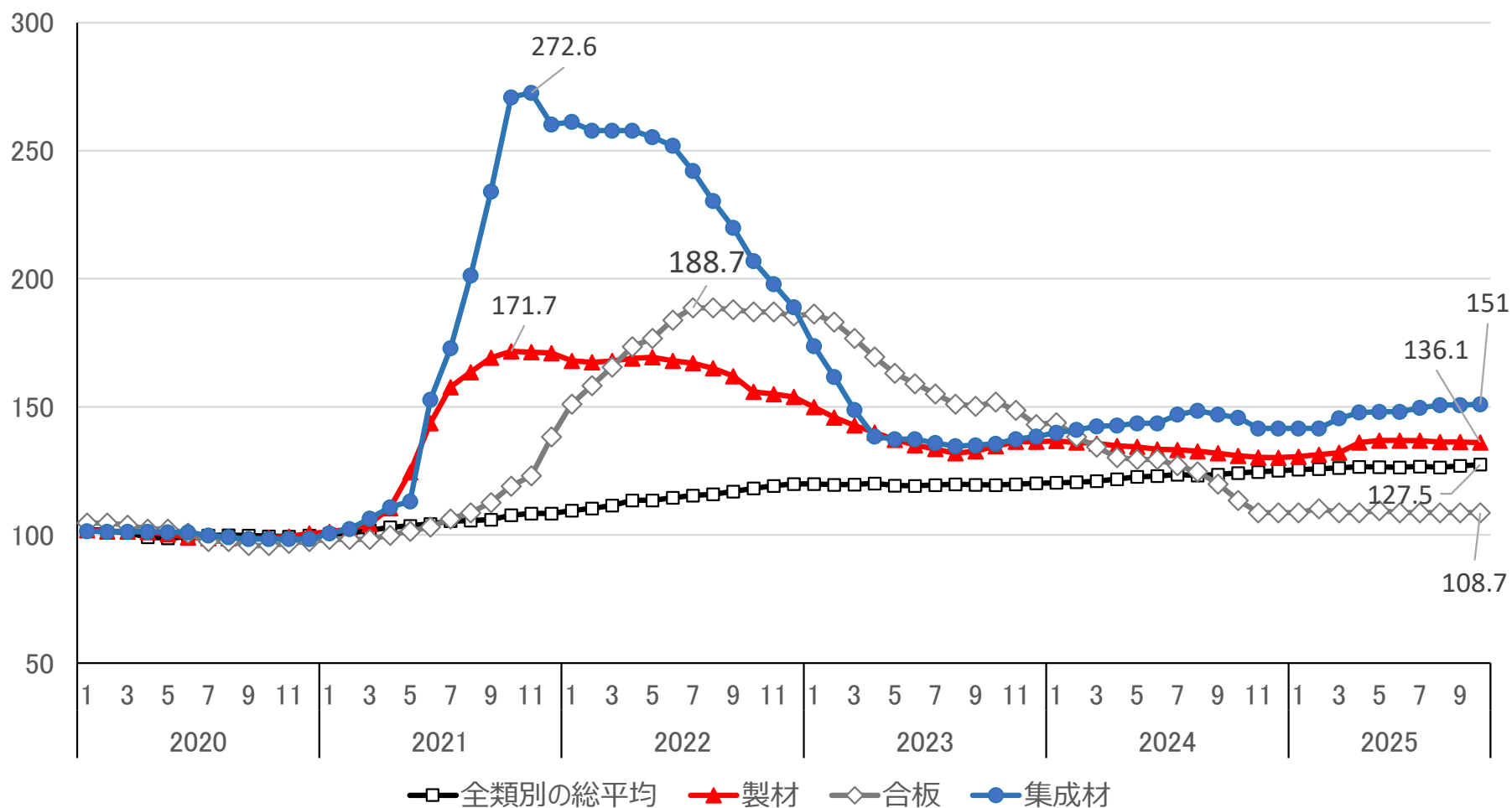
※12.0mm×91cm×182cm、1類

資料：農林水産省「合板統計」、日本木材総合情報センター「市況検討委員会資料」

注) 2025年1月から「合板統計」における当月在庫量の算定方法に変更があったため、前月までの在庫率の推移とは接続しない。

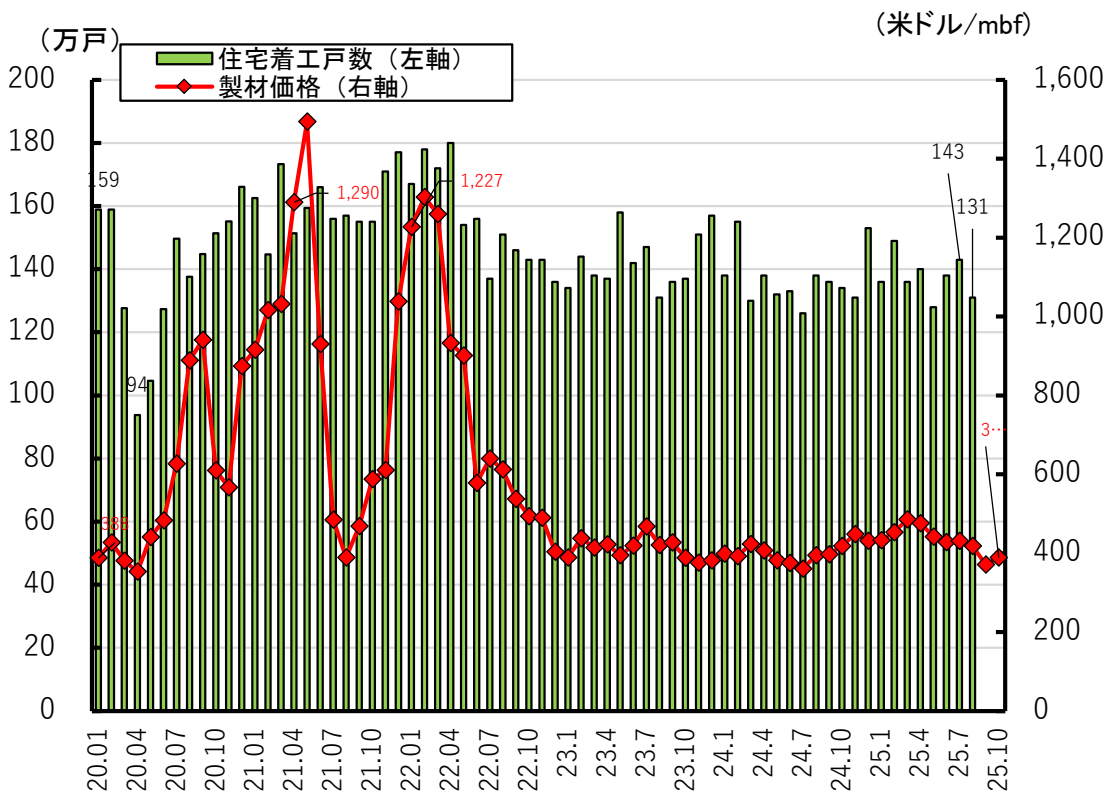
国内企業物価指数の推移（2000年平均＝100）

○ 2025年10月の企業物価指数（先月比）は、製材136.1（-2）、集成材151（+0.3）、合板108.7（±0）であり、合板は2024年9月以降下げ止まり傾向が見られる。



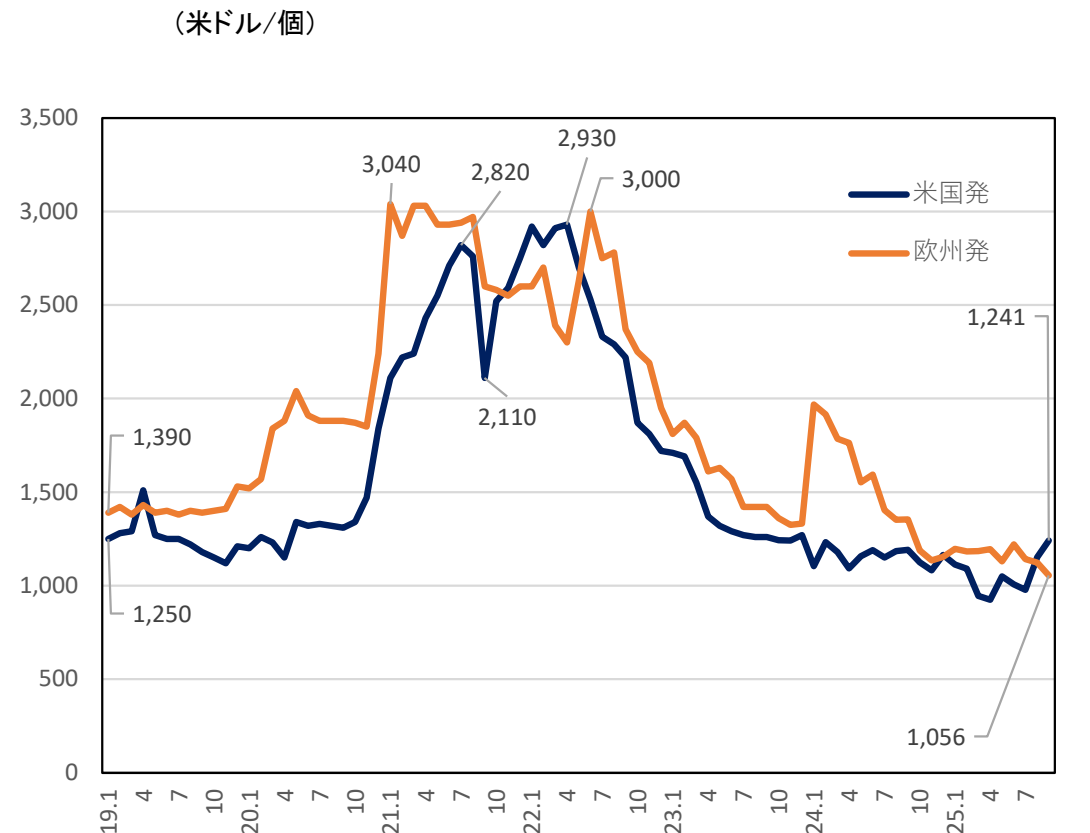
- **米国の住宅着工戸数**（戸建て計）は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4月に急落。その後回復し、**2022年5月からは概ね130～150万台で推移**。**2025年8月は前月比▲8%減の約131万戸**※。
- **北米の製材価格**は、2020年夏頃から大幅な変動を繰り返し、2021年5月には1,494ドル/mbf、2022年2月には1,303ドル/mbfを記録した後、2023年以降は概ね400ドル/mbf前後で推移。**2025年10月は389ドル/mbf（前月比+5%増）**。
- **日本向けコンテナ運賃**は、**欧州発、米国発ともに一時期高騰したもの**、**2023年末時点で概ね元の水準まで下落**。**2024年1月には、紅海でのフーシ派攻撃によるサプライチェーンの混乱の影響で欧州発が一時期高騰**。

※2025年9月分の更新情報はなし



資料：（住宅着工戸数）米国商務省「住宅着工統計」（季節調整済み、年率換算、戸建て計）
（製材価格）Random Lengths「Framing Lumber Composite Price」（月末価格、2022年6月以降は月中価格）

米国における住宅着工戸数と製材価格の推移



（注）40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着
（出典）Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

日本向けコンテナ運賃の推移